

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

事業に関わるすべての人々を大切にし、持続可能な社会の実現に貢献する経営

② 中長期の経営戦略

1. 建設事業の基盤強化

国内外の拠点活用と技術・人材の相互提供でグローバル市場での競争力強化

2. 技術とビジネスイノベーション

建設DX、都市プラットフォーム、アグリ&バイオなど5つの注力領域で新事業開発

3. 事業ポートフォリオの拡充

海外建設、開発事業、グリーンエネルギー事業で持続的成長を実現

③ 対処すべき課題

① 安全最優先への取り組み

- ・ 2023年9月東京駅前八重洲の重大災害を受け安全文化の変革を推進
- ・ 9月19日を安全の日と定め、全役職員・協力会社に安全理念を周知
- ・ 安全監察監を各本支店に配置し外部専門家による指導・助言を強化

② 海外事業の地盤強化

- ・ 北米ではM&A活用でグループ会社7社体制を構築し事業領域拡大
- ・ 東南アジアではシンガポール・タイで現地人材を幹部登用し業容拡大
- ・ シンガポール建築建設庁と協働し2024年4月に研究開発拠点開設

③ グリーンエネルギー事業推進

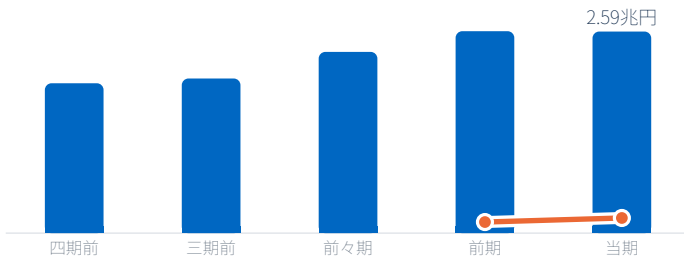
- ・ 国内で太陽光・風力・バイオマス・地熱発電を開発・運営
- ・ ニュージーランドでグリーン水素製造・販売と高速充填施設営業開始
- ・ フィジーへの海上輸送実証実施で水素サプライチェーン構築進行

面接で使えるポイント

- ・ 2023年9月の重大災害を経験した同社が、安全監察監配置など具体的な安全体制強化をどう推し進めているか
- ・ 北米でグループ会社7社体制、東南アジアでシンガポール研究開発拠点開設など、地域別グローバル戦略の違い
- ・ みんなちDROPアプリと大阪・関西万博との連携で、スマートシティ実装をどう加速させるか

証券コード 1802

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
2.59兆円営業利益率
7.5%財務健康度
42点 / 100点

要するに

連結売上2.62兆円、親会社所有者帰属当期純利益1,461億円を計上する大手総合

主力事業・セグメント

- 国内Building建設 45.3%
- 海外Building建設 20.2%
- 国内Civilエンジニアリング 17.0%

強み・特徴（公開データから）

- 連結売上高2.59兆円の大企業
- 将来性評価は晴れ
- 東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

将来性 晴れ / 就活偏差値 66.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,239万円

建設業内 3位/140社

平均年齢
42.0歳

建設業内 92位/140社

平均勤続
15.9年

建設業内 67位/140社

女性管理職
6.9%

建設業内 12位/112社

男性育休
116.7%

建設業内 5位/104社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考：【30名限定！オンライン開催】大林組転職セミナー2026

